

るまきし雲井の田を務むるなりといひし

リハハマとのみ代はりしなり

石北村季女治眼軟涙の和弁 山王七彦の神を
多し奉りしなり

人丸像由事

又唐井登所部石見出村幸村人丸明神なり神師ハク

イメノ本としを人丸以自化し本像也人丸傳政の者なり

性名アヤベノハカタライと申し ハカライ

アヤベノ家名 ハカライ

石分ライハ百姓と申す時とに拾二代お濱は此由

今世人丸像桑園齋又も兼房又見しと申す

直衣居色ノ指貫紅ハ袴也

千ハヤの事

禪家の胎藏宗の傍の由し巫女の者なりと云物ハ道具

衣しとまき佛事ののりと云とら右通具衣しヤサニ

サニとらよりのわりと云者也右ニヤサニ^{ホツ}サニを^{トウ}祭等國師

イチ女は揚ると云又ハ巫女と云是を千ハヤと云

祭等國師ハ胎藏の傍道徳の人也